

好玄記

全

和装本

ケ 5
44
7





大坪本原好玄記

- 凡馬二百曲ト云夏諸流ニ有之既曲白坂 曲返取
- 佳事テ百曲ト云兼人ノ不安者百曲返ハ不可有
- 陽陽之ニツ也前一行ハ陽退ルツ陰ト云
- 行ハ本意トレハ曲ト云ニ休ス陽ノ馬ヨリ色
- くノ曲出来故當流ニテ退リ馬ツ百曲ト
- 云各付行馬トハ唐ノ才ニ驚或喰詰行夏
- 也道物トハ唐ニ攝スカニ拘ラス行馬ヲ云也



- 過物乘樣之事
- 過物ヲ乗心得之事
- 輪ヲ乗事
- 九折之事
- 擡形之事
- 翔折之事
- 大翔廻之事
- 退口之事

- 序波之石又
- 第一馬場之拵樣事也
- 人前ニテ如何ナレ共引レテ後ニ街ノ
- 天地
- 宇才
- 居不知

右七箇條ニテ謹入レ

レサル宇繩ニハ

陰陽

本向

如女ノ手綱肝要也

口傳

口傳

口傳

口傳

草劔

手移

有べき者

- 輪ヲ乗夏好玄曰右ヨリ乗初ル事
理多シ亦騎又前ニ手繩詰テ右ハニニ
返廻レ馬ノ心ヲ見乗也坂乗ト其^其俣
水車ニ廻レ其後輪ニ入田ニ乗ヘレ始メ
ハ狂フ者也連テ静メヘシ静テリテ後
輪ヲ廣ク狭ク乗也馬気ヲ度ト思
フ時狭ノ乗気ヲ入ル時廣ク乗ヘシ

- 輪ヲ能ク乗仰セ長場一後サハ先九折ニ
テ馬場ヲ乗通スヘシ夫ニテモ乗難クハ
場中ニテニニ所ニテ輪ヲ作リ輪ノ間ヲ
九折ニテ通スヘシ
- 九折ヲ乗其後楹形ニ乗移レ次乃ハ
ニ馬入タル時翔折ヲ乗ヘシ
- 翔折ノ後大翔廻シテ乗馬和キ以後
口ヲ引入セテ扱一突クノ席ヲ乗ヘシ

○ 序ノ内ノ帝破急破之内之帝破急ノ内ノ
 序破急肝要也始メハ帝ニ乗レシ序急ノ足
 ヲリ破一乗入ル夏秘ス帝ハ躍々也破ハ大
 翔也フロクト拔跋キテ行シ云此足ハ入
 タル時ハ手ニ入タルト知レシ是乱ス夏梯
 也破ノ足ニテ亦帝破急ニ譴入レシ何足ニ
 モ馬ノ進レ得方在手ノ内鞍中押ハ拍車也
 ○ ロウリイ夏肝要也下イハ共川テ川カレ

ト心得ハシ

強キ口弱キロシモ乗リ知レハ

引テ川サル手ノ内リヨキ

青キ物ハ藍ヨリ出テ藍ヨリ青レ

氷ハ水ヨリ出テ水ヨリ氷カナリ

右納得在レシ好玄曰諸人手廻相傳ニテ

モ手廻納得在サレハ上手ニ成難キ也

○ 不行馬ノ夏

○ 騎テ一足モ行サル馬在レシテ綱ヲ知スルテ
惡シ馬行形ヲ為共口ニ攝ワス扱カフヘシ
手綱ヲ待柔立煩ヒテ有時々右へ成共左へ
成共綱ニ廻シ口ヲ見ルニ必ス退ルヘシ其時
真心ヲ捨スワロクト扱ヘテ後へ遣遠
リ止ル所有也其時口ヲ免サス廻スヘシ
廻ラステテ立止ルカ或ハ物際へ付テ立止ルヘ
シ其時モ同方へ廻レテ扱フ也亦コタヘテ

○ 行サル時ハ内成共外成共銚以當リ口ニ
ト誘フヘシ初ノ口ヲ改ヘテ右へ廻シタラハ左
へ廻スヘシ其口ニ手綱ヲ移レテ馬ノ後廻ス也ニ
同出歩ハ乗人身持初心ニシテ遣人を行止ル
時逆ハヌ口ノ趣ニ任セ方ノ立止リタル所へ退カ
ス也亦歩出ハ始止リタル所ヨリハ一足モ
前ヨリ引返シテ本ノ所ニテ幾度モ扱乗
ヘシ夫ヨリ後ハ常ノ馬ノ如ク路ヲ乗返シ

輪ヲ乗也仇足シ立テサセス口ニ仕セ左右
ハハ廻スヘレ鞭響鐘ニテ當ル夏在ヘカラス
響方々ニ遠ク歩行時馬ニ仕セ手鞞弱ク
初心ニ乗馬ニ利クサスヘレ

- 由仕タル只ニテ下リヘカラス人ヲ待口
ツ取セ下ル夏除々惡敷也押懸ツ取ニ歩
セナカラ下リヘレ或ハ翔ノ中ニテ下ルノモ有
○ 笈舎トテ荒ク當レト大曲シ出ス音也馬

物卧テ後鞞鞭鐘ニテキヘレ

- 支テ狂ハ、靜メ馬ヲ立スレテ扱ヒ乗ヘレ
- 由馬荒クハ靜メ扱ヒ騷スレテ返る出花時ハ
鐘ヲ折リモ鳴ク當ルヘン夫モ騷スハ倍力膝ノ鞭ヲ
引返レサマニキヘレ打取左右同断也
- 廻ラス馬ニアサリノ鞭ヲ十ハシ猶モ廻ラスハ鞭
數ラキ也是ヲ鞭ニテ乗ト云鞭ヲ夏連綿テ打
ヘカラスキフツ内ニ合テ出ス所或由ニ隨テキヘレ

ト心懸鞭ヲ横タテモキラスレテ鞭持タルヲ馬ニ知セ
出ルヲ待ヘシ歩行ニ其鞭キヘカラス残度モ右ノ如ク
心得ヘシ餘ニ出スハ且ホリ指鞭キヘシ其時曲教多
出ス物也鞭拘ヘシ降ク落馬セメヤウニ心懸馬静ベリ
テ手綱ノ取合鞭ヲ備ヘシ

- 鞭ニ騷馬ヲ荒ク乗ラ出スハ荒ク乗返スヘカラス
- 馬ニ負ノ由ニ物ノ乗ヘシ馬重クテ歩ス時鞭キヘシ
- 歩行テ強キ物也馬ノ心強ク成振ニ乗通スヘシ

- 場未ラ乗 行立テ強キ馳ノ足ニテ扱ヒ返ス夏也
- 場未ラ乗 扱ヒテ出スナラハ場中へ移リ物ノ
静メ馬ノ心ヲ所要ニ乗ヘシ

- 方地隔ノ夏五回其方ヨリ馬ノ心ニ合テ乗強
ケルテ事也

- 曲直リテ後ハ返ス時雨ニ乗清ク拘ヘシ場中ハ
急ニ乗心ニ乗納ノ地通ハシ返リ返乗ヘシ返リ
多ク乗テ在ヘカラス

○ 退り馬六後ノ鞭ヲ忘ルナト云リ 候前ヲ乘
フモ吉馬ニ依レ

○ 右百由ノ乗操諸流ニ数多在下イハ共乗後得
ル人克テ稀也好玄是シ考ハ退り馬ノ乗次
ヲ傳置者也

○ 手之衰ノ衰

○ メ切 操解 延端 小刻引刻

○ シメハ左右ノ手細同意ニ取リメルト也ヨリ

○ 手強クモ弱クモシメヘシ何モ手ノ衰ニシメ肝要也
キリト口強キ方ツ馬ニ知セズ引シメテ馬ノ形ニヨ
リテ免スト也馬ヨリニツモニツモ切ヘシ

○ エリトト手ノ裏シシメツユルメツスルト也響ノハシ
シ喰詰行馬ニ可也口中ニシシ定カナラズ喰詰
行トナシ左ニテモ右ニテモ亦左右一度ニ馬ヨリ
ニ揺ヘシ引ス免サスノ手ノ裏也父母ノ手強共云
○ ホトキトハ左ニテモ右ニテモ響ヲ請兼廻ラスハ

○ 手ノ裏ノソロソロトキ連シソロソロトキ音シ且迄ク當スル指免レ廻ス也

○ ノトハソシ痛ヲ左右廻ラス馬手経指免シ後ノ鞞ヲ敷固ニ廻スハ退リ馬毛同断也

○ 午、メトハ退ス馬ヲ退カス可也左右手細ノ引揃ハ奴々ト響ラ音シ我方へ午メヨスル也

○ 老シ鞞ヲ立透シテ前へ懸ルヘシ
○ コサキトハ左ノ下ロニカラ入當ル也ヒサキトハ右

ノ下ロニカラ入當ル也翔ニテ居リカ子亦ハ人引馬シ拍子ニ居ラハ引割ニ當也ニヨリ小割ニテモ當也或ハ左右一度ニモスル也

○ 琴ノ次第

○ 起奏トハ臥モセス仰ムケモセス直ニ持交也下口ソリ時也

○ 臥奏トハ俯ムケテ持也中ノ口ソリハ極奏トハ掌ヲ仰ムケテ持也白口ソリ時可也

○ 上拳トハ手廻シ高ク取テ掌シ仰ムケテ持也
上ロツ川ヘレ

○ 落拳トハ手廻シ高ク取テ上ニ川當リロリト
手ノ裏ノ穴ニテ專ラシ返レシ落ヌト也

○ ツキ拳トハ手ノ裏シ四ツ指ニ脛ト取一折々返
レ小指一ツニ懸テ兼也詰々キ時詰免仕能者也

○ 延拳トハ左ノ手廻シ右ヘ移シ左ノ手ニテ左
セオツ取廻スト也是ハ馬物ニ行懸リ危キ

時早ク引返ス為也勿論口悪敷馬ニモ可也

迎兼流之木道康嶋流之的根

大坪四世之孫 奇藤守規三守 好玄

奇藤備後守 忠玄

奇藤有宣頭 辰遠

丹別住僧了慶坊

奇藤末馬 辰光

奇藤主祝 定易

久保田宗煩 乃通

定易直弟

明和六年己丑歲

久保田多忠

正月十五日

藤原弘隆

正

堀江源五右衛門

天保七年丙申年五月吉日

藤原弘前

貞

